

認知症に関する活動計画(概要)

(一社)長野県作業療法士会では、認知症当事者の方々やその家族、パートナーの方々に、作業療法士の知識や技術、考え方を還元できるよう、つながりづくりの継続、共同での啓発イベントの開催等を引き続き実施していく。また、県士会員向けの認知症に対する作業療法の推進をはかる研修や県士会内での仲間づくりの推進をしていく。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

○2024/9/14 長野県箕輪町が実施する『箕輪町認知症フォーラム2024』にパネル展示を実施。

○2024/9/25 長野県上田市がサントミュージアムで開催する『認知症について知ろう・語ろう・備えようINうえだ』に参加。作業療法を知ってもらう機会とするため認知症をもつ方が生活しやすくなる機器や工夫の展示、作業体験を実施。

○2024/9/28 長野県松本市で『信州オレンジサミット2024IN松本』を開催。このイベントは認知症の人と家族の会長長野県支部と松本市との三者で共催。県内合同の本人ミーティング、高校生による朗読劇や当事者参加での座談会等を実施。

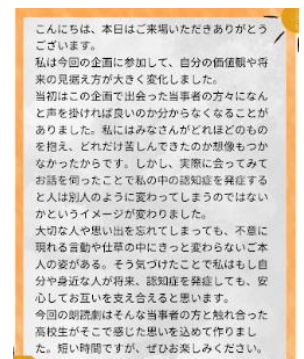
○2025/9/27 昨年に引き続き『信州オレンジサミット2025IN松本～認知症とともに笑顔で暮らす町を～』を共催予定。



認知症の人と家族の会との連携事業

○2024/9/28 『信州オレンジサミット2024IN松本』において、高校生企画を担当。高校生への認知症に関するレクチャー、当事者・ご家族との交流支援、「高校生が伝える～認知症とともに暮らす～」と題した朗読劇の制作・上演を実施した。

○認知症の人と家族の会の方に県士会員向け研修会で「認知症の人と家族が作業療法士に期待する事」と題して講義していただいた。



当事者・パートナーとのつながりづくり事業(士会独自の取り組みなど)

○現在、長野県内5か所(長野市、松本市、上田市、伊那市、飯田市)の若年性認知症当事者の集い、本人ミーティングに県士会として参加。伊那市、飯田市に関しては立ち上げメンバーとして参画。新規に開始される市町村にも委員を中心に参加予定。



県士会員向けの認知症に対する啓発活動

○2025/2/15対面とWEBのハイブリッド形式で、「認知症のある方と作業療法士の向き合い方」をテーマに認知症の人と家族の会の方からの講義と会員からの実践報告の研修会を実施。

○2025/7県学術大会において、『作業療法士が能動的に認知症当事者や家族、社会とつながっていくために～認知症リハ委員会の模索～』と題し分科会実施。活発な意見交換ができた。

○2025/12に行政書士の方を招いて制度や意志決定に関する内容で会員向け研修会を計画中。